

検証 JR革マル浸透と組織私物化の実態！

民主化闘争情報[号外] 2009年10月5日 発行 日本鉄道労働組合連合会(JR連合)【No.53】

JR総連は革マル活動家の「国際労働総研」との関わりを説明せよ！

前号に続き、革マル活動家の小西氏、神保氏について検証したい。九州労大量脱退事件直後の10月9日、革マル派活動家の小西氏、神保氏、浅野氏が九州労本部に乱入する事件が発生した。九州労の「組織部報」(223号、2000年10月10日)を紹介する。

本部に「侵入」、そして「暴力」「窃盗」 小西・神保・浅野による蛮行を許すな！

10月9日、14時30分頃、小西・神保・浅野(革マル派と思われる)3人が、勝手に本部事務所に入ってきた。彼らは「狩生、北はどこだ」「九州労破壊を行っているのはお前らだ」「俺たちがつくった九州労を壊されて黙ってられるか」などと、一方的に怒声・暴言を繰り返した。そして挙げ句の果てに、杉山書記長に対し「暴力」をふるった。さらに、役員がトイレや電話の対応に追われるさなか、組織重要書類を「窃盗」したことも判明した。また、支部事務所や社宅、自宅などを訪問したり、ピラ配布・訪問などを行っていることも発覚した。JR総連・JR九州労への組織介入・破壊に手を貸してきたのは奴らではなかったのか「盗っ人たけだけしい」とはこのことだ！本部は、10月5日の「集団脱退問題」以降、事態の把握、情報の収集・調査を行い、緊急の諸会議を開催しながら、反撃の体制づくりを行っている最中の、こうした「革マル派」による蛮行、介入を断じて許すことはできない。-(後略)-

さらに坂入氏は、前号に掲載したJR総連の告発状に対し、「私を利用し、革マル派を権力に売り渡すJR総連の一部指導者を弾劾する！」との声明を、革マル派機関紙「解放」(1649号、2000年12月18日)に掲載した(No.32参照)。一部を紹介したい。

-(前略)-皆さんは「告発状」それ自体を読んだことがあるのだろうか。実際大変なことが書かれているのである。まず文中に固有名詞がずらりと出てくる。A、J、KおよびK夫人、国鉄時代から組合に若干でも関わっていた人ならすぐ思い出すはずである。国鉄労働者としてともにスクラムを組んで闘った仲間だからである。昔の革マル派系全学連書記長の名前も出てくる。当然、警察権力は「告発状」を手にこれらの人たちの逮捕を考えるはずである。いや現に、A、J宅は権力の監視下におかれているのだ。たとえ今対立があったとしても、実名を伏せるぐらいの配慮は出来ないものなのか。まったく常軌を逸しているといか言いようがない。-(後略)-

「九州労大量脱退事件」「坂入事件」の真相を直ちに説明せよ！

JR総連と九州労は、小西・神保氏と、坂入氏を拉致した浅野氏を革マル派活動家と断じている。その人物が現在、「国際労働総研」に深く関わっていることをどう説明するのか。また事件当事者の九州労は、彼らが「JR総連・JR九州労への組織介入・破壊に手を貸してきた」「盗っ人たけだけしい」と断罪した。前号でみたJR総連の告発状では、小西光子氏が、坂入氏が「九州労大量脱退事件」の真相を語ったことについて述べた経過を指摘し、彼らが坂入氏を拉致した仲間だとしている。坂入氏の「解放」の声明でもA(浅野氏)J(神保氏)K(小西氏)を革マル活動家とみていることは明らかだ。JR総連は自ら三氏が「大量脱退事件」「坂入事件」の真相を知っていると述べているのだから、今すぐ身内の小西氏と神保氏から事情聴取して事件を解明すればよいではないか。ここまでくると、JR総連に革マル派が浸透しているというより、革マル派そのものとみるべきであろう。

「検証・JR革マル浸透と組織私物化の実態！」はJR連合ホームページに掲載中！ <http://homepage1.nifty.com/JR-RENGO>